

地域の課題をとらえて 2氏が一般質問



菅原 利彦

Q、

芸術文化の振興について

社会教育分野の一つである芸術文化事業にあっては、それぞれの地域により難しい課題であります。現在本町には他にない財産があり、ますが充分生かされていらない現状にあると思うが次の3点について質問する。

1・「心象館」について

質問 創造性豊かな心を育む書道文化が高まっているが、児童生徒の為に宗谷に移管を期に広域的な見地から再度、心象書道展を実施する考えはないか。

町長 町外に拡大した事業について、管内の実態状況を把握しながら検討しなければならないと考えている。

質問 2・「富士元寿彦、動植物写真常設展示室」の創設について

質問 富士元寿彦はこれまで児童福祉文化奨励賞を始め数々の賞を受賞し、現在、日本写真協会々員とし活躍しております。サロベツの動物の貴重な写真が約5百点、児童書、図鑑等20冊は高く評価されております。

が、町民はもとより広く鑑賞できる常設展示室として、町内の公共施設を利用して建設する考えはないか。

町長 町内の公共施設はそれぞれの目的を持って建設され、その機能を果たしており難いものがある。また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中庭空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。

3・「北岡文雄、版画作品展示室」の設置について

質問 北海道縁りの版画家故北岡文雄氏は平成2年、役場庁舎町民ロビーに設置のレリーフの製作を期に現在、在庁舎内に15点の版画があるが、あまり町民の目に触れない状況から、生涯学習センターの完成に合せて展示室として設置し広く公開する考えはないか。

町長 道に申し入れを行つており、相互に連携を図つてゆくものと理解している。

質問 エゾシカ・カラス、ライグマなどの鳥獣害の防止をどう進めるのか。

町長 ハンターによる駆除、わなの設置による駆除を推進しているが、ハンター数の減少から厳しい状況だ。の認定こども園の創設を考えているようだが、もともと幌延町には幼稚園はなく、あえて認定こども園を作る必要性はないのでは。

質問 3月議会でも触れたが宮園町特高賃住宅の空き室が埋まらない理由は何か。

町長 応分の負担を考えている。

質問 3月議会でも触れたが宮園町特高賃住宅の空き室が埋まらない理由は何か。

町長 入れない方の住宅。一番安い所でも4万7千円。国は高額収入者、公営住宅に入れない方の住宅。一番安い所でも4万7千円。国は定めたもので、無視して設定することは難しい。他の団地や公営住宅は、ほぼ満室の状況です。問題は7号棟だけと考えている。



鷲見 悟

A、Q、

町の口蹄疫対策は、農協を中心に行っている。申し合わせも行った。

質問 保育料についてはどうなるのか。

町長 応分の負担を考えている。

質問 3月議会でも触れたが宮園町特高賃住宅の空き室が埋まらない理由は何か。

町長 入れない方の住宅。一番安い所でも4万7千円。国は高額収入者、公営住宅に入れない方の住宅。一番安い所でも4万7千円。国は定めたもので、無視して設定することは難しい。他の団地や公営住宅は、ほぼ満室の状況です。問題は7号棟だけと考えている。